

# 福岡市営地下鉄七隈線延伸の必要性

九州大学工学部建築学科 3 年  
平松 永遠

## 1. はじめに

福岡市営地下鉄七隈線は、2005 年に開業された福岡市西南部と同市の都心部を結ぶ路線である（図 1）。さらに 2020 年までに、福岡市によって打ち出された“天神ビックバン”により天神南駅から博多駅へ線路が延伸されることとなった。しかし 2016 年に起きた博多駅前陥没により開業が 2020 年から 2022 年に延期された。

今回は、七隈線延伸の必要性について考え、それが福岡市に与える影響について考察していく。

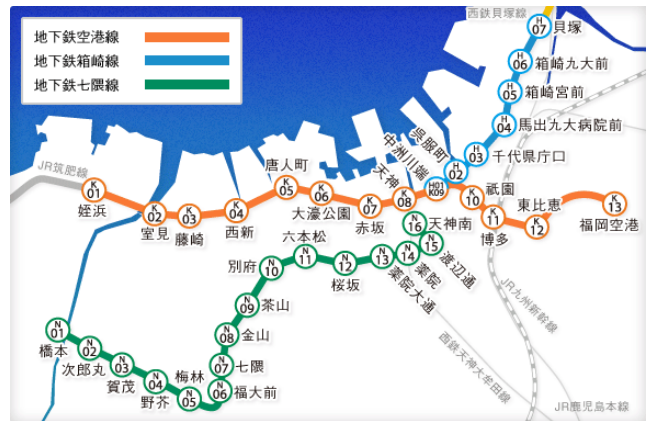


図 1 福岡市営地下鉄

## 2. 七隈線沿線の街

まず七隈線沿線の街について考える。図 2 から七隈線沿線の昼夜間人口比は低くなっていることが分かる。一部昼夜間人口比が高い場所は、中村学園大学や福岡大学等の大学、福岡大付属大濠高校などの私立高校があるためである。さらに、図 3 から事業所数も七隈線沿線部では非常に少ないことが分かる。



図 2 昼夜間人口比



図 3 公共交通と事業所数

また福岡大学や中村学園大学が立地している付近の若者人口を図 4 で見てみると、中心部を除くすべての地域よりも多くなっている。以上のことを踏まえると七隈線沿線の街は主

に二つの機能があることが考察できる。一つ目は福岡市中心部のベッドタウンとしての機能である。もう一つは福岡大学や中村学園大学等の学生により形成される学生街としての機能である。

### 3. 七隈線延伸の必要性

ここで七隈線延伸の必要性について考える。表5は、平成25年から平成29年までの5年間ににおける七隈線の乗降者数の推移である。表5から、七隈線の乗降者数はおよそ6百万人増加している。博多まで延伸されると、さらに増加することが予想される。

さて、先でも述べたが、七隈線沿線部には主に二つの特徴がある。以下では、それぞれの特徴別で七隈線延伸の必要性について述べていく。

#### (i) 福岡都心部のベッドタウン

まず福岡都心部のベッドタウンという特徴との関係性を述べる。七隈線沿線に拠点をもち、都心部に働きに行く人の働き先多くは天神であることが推測される。その根拠は、路線の関係からわかる。七隈線から博多に行くには、一度天神南駅まで行き、そこから約500m歩き天神駅まで行かなければならない。福岡市内での乗り換えは基本的に徒歩を伴わないが、唯一七隈線から空港線に乗り継ぐ時に生じる。福岡に住む人の多くはこの乗り換えを嫌っている。また、博多のベッドタウンというJR鹿児島本線沿いに多くあるため七隈線沿線から博多に通勤することは非常に考え難い。

ではなぜ七隈線を博多まで延伸しなければならないかという、福岡は人口増加率が2%と非常に高く居住地が足りていない。そこで、図6から空港線沿線に比べ人口が少なく、住宅の開拓の余地があると考えられる七隈線



図4 若者人口

年	福岡市営地下鉄七隈線乗降者数 (単位：千人)
平成25年	25 579
26年	27 389
27年	28 228
28年	30 171
29年	31 661

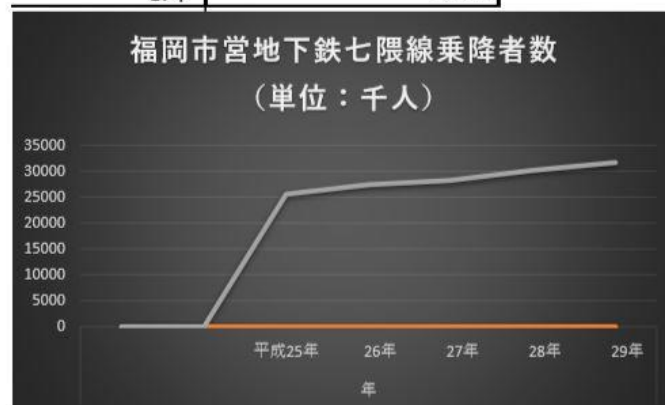


表5 七隈線乗降者数の推移



図6 人口分布



沿線の利便性をあげて働く人の拠点とすることが必要となるからである。

## (ii) 学生街

次に学生街としての視点で考えてみる。

図7から福岡市の大学生は広域に分布していて、大学付近に過密に分布していないことが分かる。つまり実家から通っているという学生も多くいることが推測される。先にも述べたが JR 鹿児島本線沿いには福岡市中心部のベッドタウンが多くある。そこに実家があり七隈線沿いに大学がある学生も一定数見込まれる。しかし、鹿児島本線から七隈線へのアクセスは非常に悪い。したがって、七隈線を博多駅まで延伸することは通学している大学生にとっては必要である。



図7 大学生の分布

## 4. 七隈線延伸が福岡市に与える影響について

福岡市は現在人口増加率2%と全国で4番目に人口が増加している。そして今実施中の天神ビックバンによりさらなる人口の増加が見込まれる。その事実とは裏腹に、都心部へのアクセスが良い居住地は不足しているという事実がある。しかし、今回の七隈線延伸で都心へのアクセスが良い地域を拡大させることによりさらに人口増加に拍車をかけることができると思われる。また、七隈線は福岡市が運営しているため延伸により利用者が増えると市の財政が潤い、さらに街をよくすることができ正の循環に入ることが予想される。それだけでなく公共交通の発達により自動車事故件数の減少や高齢化社会にも貢献することが予想される。実際に図8によれば七隈線沿線は高齢者の割合は他の地域に比べて高く、今後さらなる高齢化が予想されるため七隈線を整備することは重要である。

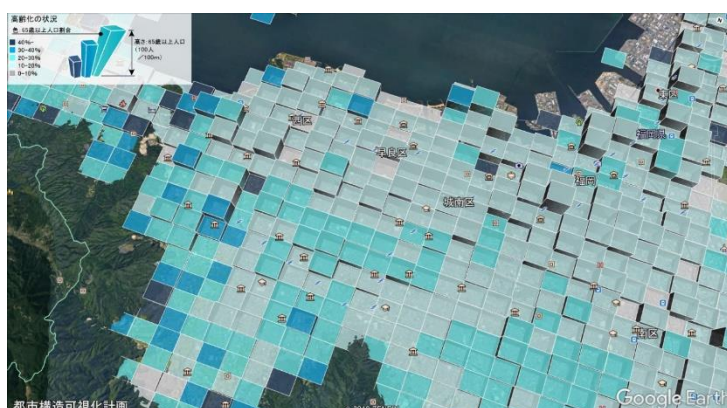


図8 高齢者の分布

## 5. 今後の展開についての考察

福岡市の公共交通は近年急速に発達してきている。筑肥線と姪浜駅の接続や今回の議題である七隈線の開業及び延伸などにより福岡市の都市圏は次第に広がってきている。図9か

らもわかるように、通勤通学に公共交通を利用する人は多く、広域に点在している。さらに交通網を整備するとこのエリアがさらに広域化されてさらなる人口増加につながると考えられる。

今後の交通網とそれに伴う人口増加に期待したいと思う。



図9 通勤通学に公共交通を使用する人